

[プログラム]

司会 杉浦秀典（賀川豊彦記念松沢資料館 副館長）

—

開会挨拶 永野茂洋（明治学院大学副学長、同大学教育センター教授）

—

開催主旨説明 稲垣久和

〈賀川豊彦紹介映像〉上映

—

パネルディスカッション ①

逢見直人氏×比嘉政浩氏×新井ちとせ氏×篠田 徹氏＋稲垣久和

—— 休憩 10 分間

[資料目次]

出演者プロフィール	3
-----------	---

開催主旨「労働者は人格である」	稲垣久和	4
-----------------	------	---

パネルディスカッション資料

[団体紹介]

① 日本労働組合総連合会（連合）	逢見直人	17
② 全国農業協同組合中央会（JA 全中）	比嘉政浩	18
③ 日本生活協同組合連合会（生協連）	新井ちとせ	21

[社会的課題への取組と震災支援]

市民社会と賀川豊彦の友愛精神

「労働者は人格である」

稲垣久和

1

協同組合間の連携

- 互助組織の中の様々なレベルでの連帯の重要性

↓

- 現代的に表現すると「社会関係資本(ソーシャル・キャピタル)」の形成のため

「人々の協調行動を活発にすることによって、社会の連帯性を改善できる、信頼、規範、ネットワークといった社会組織の特徴」(R・パットナム『哲学する民主主義』)→ボンド型とブリッジ型

2

災害復興支援とその後

- 日本列島は自然災害活動期に入った
- 緊急時における地域ネットワークの構築
- 平時における貧困なくすネットワークの構築



- 持続可能な町づくりにおいて労組、農協、生協がどこで相互連携できるのか？
- 市民自治の社会構築と労働の意味

3

人はなぜ働くのか？

- 資本主義の変遷 → 格差社会
- 労働力は商品ではない？
- では何なのか？
- なぜ過労死するまで働かなければいけないのか？

4

公共政策への提言

自由・平等・友愛・連帯の市民が民主的に自治
する社会の形成へ

そのために協同組合的な政治・経済・社会に舵をきる

→

憲法では個人主権たる基本的人権は保障されている。中間集団の自由は21条の「結社（association）の自由」に保障されていると考えてよい。ただし日本では中間集団がもつ主権（＝領域主権）がこれ以上深く研究されていない。

7

